「南高スタイル」

号 外！！

「第40回弘前南高校スキー教室 in 鰺ヶ沢」

今年で第40回を迎えた伝統のスキー教室は2月20日、藍白の雪原美しい、ここ鰺ヶ沢町の「スプリング・スキーリゾート」で行われました。

数日前まで雨の確率100パーセントの予報ではありましたが、61回生スキーヤー達の熱い思いが天に届いたのでしょう。前日までの雨も上がり、当日は絶好のスキー日和となりました。また、記念すべき40回目のスキー教室も、今年がラストイヤーになるということで、悔いの残らない滑りを残そうと、待ちわびたスキーヤーが意気揚々とゲレンデに集結したのでした。

バスを降りるとまずはスキー靴に履き替え、開校式会場へ。恭一主任による開始を告げるホラ貝が鳴り響くと、各班に分かれて一斉に実習がスタートしました。

特に女子スキーヤー達は、午前中、まずは様子見とばかりに慎重な滑りを見せましたが、時間が立つにつれ徐々に慣れてきた様子。白く染まったゲレンデに鮮やかなシュプールを描き始めました。

一方男子スキーヤー達は、「ここは己のプライドを賭けてしのぎを削る激戦の舞台だ！」とばかりに鼻息も荒く、白銀のゲレンデが熱く溶けるほどのスピードバトルを演じるのでした。

これら生徒達の滑りに刺激を受けたのか、各担任も負けていられないとばかりに次々と参戦。小山先生と宮﨑先生は「本物のゲレンデの妖精は私よ」とばかりに、バブル期に磨き上げたパラレルでスキーバトル。運動会の結果がまだ尾を引いているのか、恭一主任が何度も仲裁に入るなど主導権争いを最後まで演じるのでした。また、佐藤先生は午前中予想外のアイスバーンで30M 滑落するというアクシデントに見舞われましたが、午後はリベンジとばかりに復活。檜山先生は滑るだけがスキー教室ではないとヒュッテでは冬の女王、広瀬香美の「ロマンスの神様」を熱唱する圧巻のパフォーマンスを披露し、インバウンドで来日中の旅行者達をうならせるのでした。一方、岡部先生は「ゲレンデの貴公子降臨」とばかりに雪も溶けるほどの熱いモーグル滑走でゲレンデを魅了。ZOOの「Choo Choo TRAIN」を口ずさみながら軽快に去っていくのでした。

これら担任の滑りに刺激を受け、満を持して登場したのが「ゲレンデの奇行師」恭一主任。「もう黙っていられない。若者にゲレンデの厳しさを教えてやる」などと意気揚々と飛び出しましたが、持病のヒザ痛が悪化し、まもなくリタイヤする始末。その後は疲れた体にムチを打ちながらもスキー場を縦横無尽に走り回り、生徒の活動を逃すまいと写真撮影に徹するのでした。

「生徒の楽しむ姿みると、疲れが吹っ飛ぶなあ！ みなさん、お疲れさま！」（主任談）

第４０回スキー教室

１年次通信は弘前南高校 HP でも閲覧できます。

http://www.hirosakiminami-h.asn.ed.jp/

AOMORI SPRING SK
冬の青森スプリング・スキー